年間授業計画

足立東 高等学校 令和８年度（３学年用） 教科　公民　科目 現代社会基礎

教　科：　公民　　科　目：　現代社会基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　選択者

教科担当者：後藤

使用教科書：（　『高等学校　新公共』（第一学習社）　）

教科の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念について理解できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方・公共的な空間における基本的原理を活用できるようにする。事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に、社会の担い手として取り組めるようにする。現代の諸課題を主体的に解決できるようにする。

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
一部の支援を活用して、時事的な問題の基本的構造について理解し、時事的問題についての地政学的把握をする。また、政治、経済についての基本事項と社会的事象の関連性を理解する。	時事的な問題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方・公共的な空間における基本的原理を活用できるようにする。一部の支援を活用して政治、経済と社会的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断できるようにする。	よりよい社会の実現を視野に、社会の担い手として取り組めるようにする。現代の諸課題を主体的に解決できるようにする。授業に参加しながら、自分の考えを発展させていくような取り組みを行う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識・技能】 ・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解する。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る。 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解する。 【思考・判断・表現】 ・社会に参画する自立した主体とは、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現する。 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験などの概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会とのかかわりにおいて多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚をもつ。	・公共の扉 ・自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち ・持続可能な社会づくりの主体となる私たち	【知識・技能】 ・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 ・人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・社会に参画する自立した主体とは、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験などの概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会とのかかわりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚をもっている。	○	○	○	26
2学期	【知識・技能】 ・法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任などにかかわる現実社会の事柄や課題を基に、各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されることについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・法の意義と役割、政治参加と公正な世論の形成、雇用と労働問題などの事項について、法、政治および経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を持ち、公共的な空間に生き国民主権を担う公民としての自覚をもつ。	・公共の扉 ・自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち ・持続可能な社会づくりの主体となる私たち	【知識・技能】 ・法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任などにかかわる現実社会の事柄や課題を基に、各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・法の意義と役割、政治参加と公正な世論の形成、雇用と労働問題などの事項について、法、政治および経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を持ち、公共的な空間に生き国民主権を担う公民としての自覚をもっている。	○	○	○	28
3学期	【知識・技能】 ・現実社会の諸課題にかかわる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・地域の創造、よりよい国家・社会の構築および平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、論拠を基に自分の考えを説明、論述する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して、人間としての在り方生き方についての自覚を持ち、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、協力し合うことの大切さについての自覚をもつ。	・公共の扉 ・自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち ・持続可能な社会づくりの主体となる私たち	【知識・技能】 ・現実社会の諸課題にかかわる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・地域の創造、よりよい国家・社会の構築および平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し、課題の解決に向けて事実を基に協働して考察、構想し、論拠を基に自分の考えを説明、論述している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して、人間としての在り方生き方についての自覚を持ち、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、協力し合うことの大切さについての自覚をもっている。	○	○	○	16 合計 70